

セミナー  
Séminaire

ケベック文学の現在  
Actualité de la littérature québécoise

1. Anne Hébert et l'écriture des femmes  
(アンヌ・エベールと女性のエクリチュール) Nathalie WATTEYNE
2. L'énigme de l'arrivée : romanciers immigrants au Québec depuis 1980  
(到着の謎—1980年以降のケベックの移民作家) François HÉBERT

日 時 : 2012年4月28日(土) 16:30~18:00 le samedi 28 avril 2012  
場 所 : 立教大学池袋キャンパス 太刀川記念館3階 多目的ホール  
Université Rikkyo, Tachikawa Hall, 3<sup>e</sup> étage  
<http://www.rikkyo.ac.jp/access/ikebukuro/campusmap/>  
<http://english.rikkyo.ac.jp/access/ikebukuro/campusmap/>

司 会 : 小倉和子 (本学異文化コミュニケーション学部教授)  
(入場無料 Entrée libre、通訳なし Sans traduction)

主 催 : 立教大学異文化コミュニケーション学部  
共 催 : 日本ケベック学会  
対 象 : 本学学生、大学院生、教職員、一般  
連絡先 : 小倉和子 ogura@rikkyo.ac.jp

**講師略歴:**

**ナタリー・ワテヌ** 1964年、モントリオール生まれ。ラヴァル大学にて修士号を取得した後、パリ第十大学にて比較文学の博士号取得。フランスとケベックの近・現代詩を専門とする。現在、シェルブルック大学、文学・人文学部教授。同大学アンヌ・エベール研究センターの中心的人物として、アンヌ・エベール作品の批評版出版に貢献する。2012年度立教大学招聘研究員。『叙情性と叙情的発話』(2006年)、『1980年以降のケベック文学における身体のエクリチュール』(2007年)、『アンヌ・エベール関連年譜・研究目録』(2008年)など、編著書多数。みずからも詩人である。

**フランソワ・エベール** 1946年、モントリオール生まれ。モントリオール大学を経て、エクス・マルセイユ大学にてフランス文学博士号を取得。フランスとケベックの現代文学研究および文学創作を専門とする。モントリオール大学名誉教授。教職のかたわら、作家としてケベック文学作品の出版活動を精力的に展開する。『モントリオール』(1989年)、『普遍的ミロン』(2007年)、『詩の間の中で』(2007年)など、編著書多数。